

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年9月18日 (2008.9.18)

【公表番号】特表2008-515450(P2008-515450A)
 【公表日】平成20年5月15日 (2008.5.15)
 【年通号数】公開・登録公報2008-019
 【出願番号】特願2007-536219(P2007-536219)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 A 0 1 H 1/00 (2006.01)
 A 0 1 H 5/00 (2006.01)
 C 0 7 K 14/415 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 0 1 H 1/00 A
 A 0 1 H 5/00 A
 C 0 7 K 14/415
 C 1 2 N 5/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成20年7月31日 (2008.7.31)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

腺状突起における機能的転写プロモーター活性を有する核酸であって、配列番号 2 の配列、少なくとも 100 個の連続ヌクレオチドを有するその断片または前記配列の 1 つと少なくとも 80 % の同一性を示すこれらの機能的変異体を含むことを特徴とする、核酸。

【請求項 2】

配列番号 2 の配列と少なくとも 90 % の同一性を示す配列または少なくとも 100 個の連続ヌクレオチドを有するその断片を含み、かつ腺状突起に特異的な転写プロモーター活性を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の核酸。

【請求項 3】

配列番号 1、3、4 および 22 からなる群において選択される配列または少なくとも 100 個の連続ヌクレオチドを有するその断片を含むことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の核酸。

【請求項 4】

配列番号 6、7 および 8 からなる群において選択される配列を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の核酸。

【請求項 5】

MSQSISPLMFSHFAKFQSNIWRCNTSQLRVIHSSSYASFG
 GRRKERVRRMNRAMDLS (配列番号 10) の配列を含む、植物細胞の葉緑体の輸送ペプチドをコードする核酸。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の核酸に作動可能に結合した目的遺伝子を含むこと

を特徴とする組換え発現カセット。

【請求項 7】

目的遺伝子が毛状突起によって分泌される滲出物の組成の修飾をもたらす酵素をコードすることを特徴とする請求項 6 に記載の発現カセット。

【請求項 8】

前記目的遺伝子が治療用または植物検疫用のタンパク質、酵素、耐性タンパク質、転写活性化因子またはウイルスゲノムをコードすることを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の発現カセット。

【請求項 9】

M S Q S I S P L M F S H F A K F Q S N I W R C N T S Q L R V I H S S Y A S F G
G R R K E R V R R M N R A M D L S S (配列番号 1 0) の配列を含む、植物細胞の葉緑体の輸送ペプチドをコードする核酸をさらに含むことを特徴とする請求項 6 ~ 8 のいずれか一項に記載の発現カセット。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の核酸または請求項 6 ~ 9 のいずれか一項に記載のカセットを含む発現ベクター。

【請求項 11】

請求項 6 ~ 9 のいずれか一項に記載のカセットまたは請求項 10 に記載のベクターを含む組換え細胞。

【請求項 12】

特にナス科、キク科、アサ科またはシソ科由来の植物細胞であることを特徴とする請求項 11 に記載の細胞。

【請求項 13】

植物においてタンパク質を生成する方法であって、前記タンパク質をコードする遺伝子を含む、請求項 6 ~ 9 のいずれか一項に記載のカセットまたは請求項 10 に記載のベクターを前記植物に導入する工程を含む、方法。

【請求項 14】

植物においてタンパク質を生成する方法であって、前記タンパク質をコードする遺伝子を含む、請求項 6 ~ 9 のいずれか一項に記載のカセットまたは請求項 10 に記載のベクターを植物細胞または種に導入するステップと、前記細胞または種から植物を再生するステップとを含む、方法。

【請求項 15】

組換えタンパク質を発現する植物を作製するための方法であって、前記タンパク質をコードする遺伝子を含む、請求項 6 ~ 9 のいずれか一項に記載のカセットまたは請求項 10 に記載のベクターを前記植物細胞または種に導入する工程と、前記細胞または種から植物を再生する工程とを含む、方法。

【請求項 16】

植物が腺状突起においてタンパク質を分泌し、かつタンパク質が葉表面の滲出物から回収されることを特徴とする請求項 13 ~ 15 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 17】

植物がナス科、キク科、アサ科またはシソ科由来の植物である請求項 13 ~ 16 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 18】

請求項 6 ~ 9 のいずれか一項に記載の発現カセットまたは請求項 10 に記載のベクターを含む植物または種。

【請求項 19】

植物の腺状突起において特異的にタンパク質を発現するための請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の核酸の使用。

【請求項 20】

M S Q S I S P L M F S H F A K F Q S N I W R C N T S Q L R V I H S S Y A S F G

G R R K E R V R R M N R A M D L S S (配列番号 1 0) の配列を含む植物細胞の葉緑体の輸送ペプチド。